

阿智神社新聞

発行者
倉敷東小学校
名前
横山将大

倉敷の街を見守る阿智神社



少し神聖な気持ちになります。



美観地区の鶴形山の頂上にある。大きな木やつじなどいろいろな木や花があり、自然があふれています。

阿智神社はどんなところ？

海だったため、海の交通の守り神である宗像三女神、またよかたさん、しんをまつたといわれています。初めてまつられたのは七〇〇年ほど昔のことです。境内には榎末社（せつまつしゃ）といわれる小さな神社もたくさんあります。



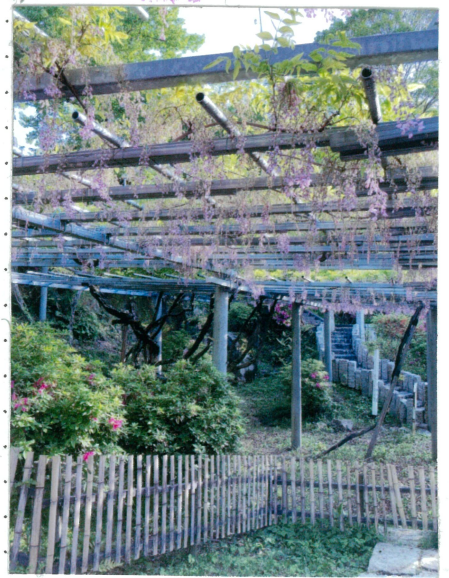
阿智の藤はとっても貴重

阿智の藤は日本一古く、倉敷の市花でもあり、県の天然記念物に指定されています。阿智の藤には年輪がありません。そのため、ちんとした樹れいはありません。成長の度合では、だんし、関原の戦いのころにはあったと

少し詳しく！

倉敷の古い名前は阿知といわれています。昔この辺りは

阿知の藤は生命が強いですが、年寄りなので、病気にかかりやすく、三年かけて治りやうが行われました。地元の人たちでつくった、あちのふじ、応えん団や、県や市のみんなが、協力して阿智の藤を大切にしています。

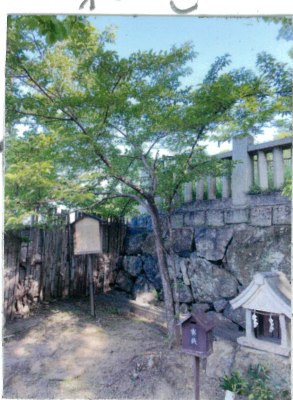


阿智の藤だけじゃないぞ！！

阿智の神代桜
あち かみよさくら

日本三代桜神
代桜じんたいざ

くらを山梨県
から樹れい



二〇〇年の門外不出の苗をいただきました。そのお返しに阿智の藤を差し上げました。今では神代阿智の藤として大切に育てられているそうです。